

グランドデザイン東下組小プラン2008

教育目標 自己をいきいきと表現する子

目指す子どもの姿

- ・学習意欲を高める子
- ・人と明るく接する子
- ・夢や目標を持って学ぶ子

自分の考えや思いを進んで相手に伝えよう

基礎基本の確実な定着

- ・確実に身につけなければならない内容を繰り返し練習するスキルテストを学期に2サイクル以上実施する。
- ・国語、算数で自分の考えを分かりやすく伝える力を高める学習活動を学期に1回設定する。

自ら学ぶ意欲・表現力の向上

- ・生活科、総合的な学習の時間などで地域の人や他校の児童と話す場を設定する。

優しい心で声をかけ合おう

思いやりを育てる道德教育

- ・一人一プランター栽培活動や学級園（畑）の栽培活動をする。
- ・命、人権にかかわる道德授業を実施する。
- ・月の生活目標に「自分や友達のよいところ」を取り上げ、全校の活動として取り組む。

明るく人に接する社会性の育成

- ・児童会行事など人とかかわる活動を行った後に振り返り活動をする。
- ・あいさつを月の生活目標に上げ、児童会の活動としても取り入れる。
- ・グループエンカウンター、ソーシャルスキルを道德授業、学級活動で月1回以上行う。

めあてをもって粘り強く体を鍛えよう

体力の向上

- ・単元のねらいを達成するような目標を立てて、挑戦する。
- ・元気アップタイムを週1回実施し体力の向上を図る。

健康の保持・増進

- ・生活リズムチェックカードを使って、児童自らめあてを設定し、取り組む機会を学期1回以上設定する。
- ・よい生活習慣について学期に1回以上学習する。（早ね、早起き、朝ごはん他）
- ・歯の健康や正しい歯磨き方法について学習する。

目標とする成果

基礎基本の確実な定着

- ・単元テスト結果が全国平均を上回る児童を全員にする。
- ・国語、算数の授業の児童評価で「できる」「分かる」と評価する児童を全員にする。

自ら学ぶ意欲・表現力の向上

- ・地域や他校での交流活動の中で、自分の考えを伝えることができる児童を全員にする。

思いやりの心を育てる道德教育

- ・自然の命や自分の命を大切にする児童を全員にする。

明るく人に接する社会性の育成

- ・自分から進んで他校の児童と認めたり、励ましたりすることができる児童を全員にする。
- ・明るいあいさつや優しい言葉遣いをする児童を全員にする。
- ・「学校が楽しい」と答える児童を全員にする。

体力の向上

- ・自分の運動能力に合っためあてを立て、体力づくりに挑戦し、めあてを達成できたと実感する児童を全員にする。
- ・体力テストの6種目以上で県平均を上回る。

健康の保持・増進

- ・よりよい生活習慣を身に付けるための取組で自主性が高まった児童を全員にする。
- ・処置歯率が県平均を上回る。

家庭・地域とつながり信頼される学校づくり

☆学習参観、懇談会、各種たよりにより教育活動のねらいの理解を得られるようにする。

☆閉校、統合に向けて、家庭・地域と学校の「思い」を共有できるよう学校運営の説明と参画の機会を工夫する。

☆年2回定期学校評価を実施し、成果や課題を明らかにし、改善に生かす。

☆地域等の人材活用

○生活科、総合的な学習の時間での畑の栽培活動、地域の自然・歴史・文化に関する調査活動

○学区民運動会 ○学区民文化祭 ○新保広大寺踊り ○しめ縄づくり